



子どもたちの成長と笑顔のために！

地域の子どもたちを大切にしたい
という想いのもとに生まれた、多賀城の事業所の取り組みを紹介します。



楽しい誕生日のお祝いを

笠神にある洋菓子店ピュイダムールは、9月から、一人親世帯の小学校6年生までの子どもを対象に誕生日ケーキを提供する活動を始めました。近所の方や来店した方との会話の中で「一人親世帯は大変らしい」という話を聞き、何かできないかと考えたのがきっかけ。これまでに8世帯からの申し込みがあり、ケーキをプレゼントしました。店長の磯さんの「誕生日という特別な日を楽しく過ごしてほしい」「子どもたちに笑顔になってほしい」という願いが込められたこの企画。買い物した際の釣銭を寄付する方がいるなど、賛同者の輪も広がっています。

↑ 定番の生クリームデコレーションケーキが提供されます。→ 「自分の住む大好きなまちに何か貢献できれば」と話す磯店長。



洋菓子店ピュイダムール

多賀城市笠神 5 丁目 14-18 TEL : 022-367-9150 FAX : 022-366-8033

営業時間 : 9:30 ~ 18:30 (平日・土曜) / 9:30 ~ 18:00 (日曜・祝日)

定休日 : 月曜・火曜 (祝祭日は変更あり)



家族の思い出づくりに

店主の水落さんは、市内でこども食堂の活動が行われていることを知り、自分も食事を提供したいと考えました。しかしコロナ禍でこども食堂の活動が止まっていたことから、自分の店で子どもたちが無料で食事ができる「特別な日においしいものを食べようチケット」を配布する取り組みを始めました。3月から実施しており、これまでに約 40 枚利用されました。厨房を向き元気に笑顔で挨拶してくれる子どもたちの姿を見て、やってよかったと感じています。水落さんは「震災後から社会や地域に恩返ししたいと考えていました。食べ物にまつわる家族の思い出は記憶に残るものです。そのお手伝いができれば」と話します。



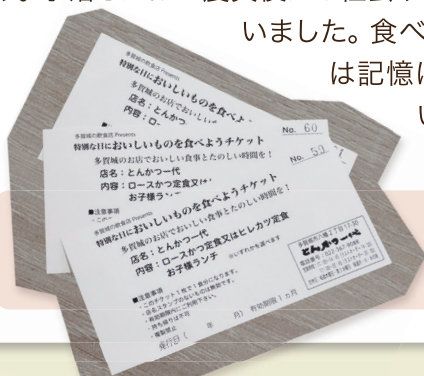
↑ 提供されるメニューは3種類から選べます。

← チケットは子どもの居場所づくりなどを行っている団体を通して配布しています。

とんかつ一代

多賀城市八幡 2 丁目 17-35 TEL : 022-367-9088

営業時間 : 11:00 ~ 14:45 / 17:00 ~ 20:45 (金、土、日のみ) 定休日 : 木曜・第 3 水曜





市民同士の 交流が織りなすハーモニー

多賀城と東京の国分寺を結ぶコンサートが開催されました。

両市の頭文字を取って「TaKo TaKo あがれ!! コンサート」と命名されたイベントに込められた想いとは…



きっかけは史跡と震災

11月5日(日)、「第3回 TaKo TaKo あがれ!! コンサート」が多賀城市文化センターで開催されました。多賀城市と国分寺市は、奈良時代の国指定史跡があるという共通点があります。そのつながりから、2011年の東日本大震災当時、復興支援のために国分寺市から職員が派遣されました。それを機に翌2012年には災害時相互応援に関する協定を締結しています。このような両市の親交を市民にも広げることを目的に立ち上がったのが、コンサートを主催した多賀城市と国分寺市の文化交流を進める会です。共同代表の吉田忠彦さんは「災害時だけでなく、日常的に交流を続けることで、いざという時の関係づくりを進めたい」と話します。コンサートは、2017年に第1回を多賀城、2019年に第2回を国分寺、コロナ禍の中断を経て、今回が4年ぶりの開催となりました。回を重ね、地域の文化や歴史を理解し合ったり、実際にお互いの市を行き来することでより親しみを感じるようになりました。

歌から広がる交流

今回は、多賀城の混声合唱団菟、国分寺のグリークラブ「湧水」など、両市合わせて5つの市民合唱団が、合唱曲、オペラ、童謡、ポップスなど、さまざまなジャンルの楽曲を披露しました。出演者のみなさんは、純粹に歌うこと、音響の素晴らしいホールで歌えることに喜びを感じており、楽しみながら交流を進めています。「久しぶりにコンサートを開催することができて、感動もひとしおです」と共同代表の柴田顕士さん。同時に、多賀城の観光物産展、パネルの展示も行われ、音楽や文化だけでなく、名産品や歴史を通してお互いの地域のことを知る機会も設けられました。来場者からは「混声合唱団のアカペラが素晴らしかった」「優しい歌声に感動した」「このような形で離れた他の地域とつながることができてうれしい」といった感想が聞かれました。物産展の出展者や来場者とともに深めた交流は、両市・両市民の絆をより強めたに違いありません。



↑多賀城市長を挟んで挨拶する共同代表のお二人。多賀城市の吉田さん(左)と国分寺市の柴田さん(右)。



↑観光物産展では、古代米を使用したお酒をはじめ、多賀城市の魅力が詰まった商品が並びました。

「tag」とは

「tag」には、多賀城(tagajo)の頭文字3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



ホームページ ブログ

アンケート

誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします！

- 自分たちの団体を取材してほしい
- こんな話題を取り上げてほしい
- ユニークな活動や地域のために頑張っている団体・人を知っている